

# 国営沖縄記念公園

## 海洋博公園

## 教育プログラム



## もくじ

国営沖縄記念公園（海洋博覧会地区）とは	3
海洋博公園施設案内	4.5
海洋博公園の教育プログラムの支援紹介	6
海洋博公園教育プログラム一覧	7.8.9.10
教育プログラム（生き物1～2）	11.12
（植物1～7）	13.14.15.16.17.18.19
（プログラム実施例）	20
（文化1～3）	21.22.23
（プログラム実施例）	24
（理科1）	25
（社会1～3）	26.27.28
教育プログラム予約一覧	29
学習指導要領（抜粋）	30
小学校学習指導要領 第2章 第2節 社会	31
小学校学習指導要領 第2章 第4節 理科	32
これまでの試行内容	33
教育プログラム実績	34
申込方法	35
申込用紙	36

## 国営沖縄記念公園（海洋博覧会地区）とは…

国営沖縄記念公園は、昭和50年に開催された沖縄国際海洋博覧会を記念して、昭和51年8月に博覧会跡地に設置された国営公園です。

現在は沖縄の観光振興、特に本島北部の観光の拠点として中心的役割を果たしています。

公園の3つのエリアのうち、歴史・文化のエリアでは、太平洋諸国の海洋民族とのかかわりを示す生活用具、漁労具等約750点が展示されている海洋文化館、琉球列島古来の民家群及び民家庭園を再現したおきなわ郷土村、沖縄最古の歌謡集である「おもろさうし」にうたわれている植物のうち代表的な22種類を展示植栽したおもろ植物園等があります。

海のエリアでは、ジンベエザメ、マンタなど大型のサメ・エイ類を飼育している世界最大級の沖縄美ら海水族館、海洋博以来のイルカショーが人気のオキちゃん劇場、メキシコ政府から贈られたマナティーがいるマナティー館、ウミガメの産卵から成長まで観察できるウミガメ館、イルカを間近に観ることができるイルカラグーン、面積約3haの白砂を敷きつめた人工ビーチで、平成13年に「水浴場八十八選」、平成18年には「快水浴場百選」に認定され、4月から10月末まで海水浴ができるエメラルドビーチなどがあります。

花・緑のエリアでは、一年を通じて花を絶やすことのないよう世界的な規模の温室を設け、ランや熱帯果樹・花木等熱帯性の植物を演出展示している熱帯ドリームセンター、東シナ海に沈む美しい夕陽が見られる夕陽の広場、外国人に人気の熱帯・亜熱帯都市緑化植物園などがあります。



# 海洋博公園 施設案内

## おきなわ郷土村

おきなわ郷土村は、琉球王国時代（その中でも17～19世紀頃）の沖縄の村落を再現しています。御嶽（ウタキ）、拝井泉（ウガミガー）、神アサギといった伝統的な村落形態のなかに、民家や高倉を再現しています。



## 海洋文化館

沖縄を含めた太平洋地域における海洋民族の歴史や文化を紹介する施設です。ここに集められた展示物は1975年に開催された「沖縄国際海洋博覧会」の際に作られたものであり、1970年代のアジア・南太平洋地域の海洋文化を現代に保存し、伝えています。



### 館内ご案内

#### Information

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>エントランスホール(ロビー)</b></p> <p>①「海洋文化館のダブルカヌー」<br/>The Oceanic Culture Museum's Double-hulled Canoe</p> <p><b>航海ゾーン(3階ロフト)</b></p> <p>②「海を渡った人々」<br/>The people that crossed the ocean</p> <p>③「ミクロネシアに残る航海術」<br/>Navigation skills still found in Micronesia</p> <p>④「バンドンシネ海の番傘への道」<br/>The way to becoming a canoe master</p> <p>⑤「バンドンシネ 受け継がれる、聖なる島の技」<br/>Inherited sacred culture's skill</p> <p>⑥「カヌーを探る」<br/>Discovering the canoe</p> | <p><b>オセアニアゾーン(2階ホール)</b></p> <p>⑦「太平洋の島々」<br/>Islands in the Pacific</p> <p>⑧「島に住むということ」<br/>Living on an island</p> <p>⑨「食べるための知恵」<br/>Culinary knowledge</p> <p>⑩「海に生きる人々の技」<br/>Skills of sea people</p> <p>⑪「人類の移動と拡散の軌跡を解明する」<br/>Determining the path of migration and spread of humans</p> |
|--|--|

- |  |   |
|--|---|
| <p>⑫「身体を飾る」<br/>Body adornment</p> <p>⑬「受け継がれる世界観」<br/>Inherited world view</p> <p>⑭「音 ことば 動き」<br/>Sounds, words and body movements</p> <p>⑮「パフォーマンススタジオ」<br/>Performing arts studio</p> | <p><b>交流ゾーン</b></p> <p>⑯オセアニア交流ステージ<br/>Oceania Interaction stage</p> <p>⑰「海が結ぶ交流」<br/>Interaction connected by the sea</p> <p>⑱リエン・ポロフト号<br/>The Lien Poloff boat</p> <p>⑲ウカトイ<br/>Lanot</p> <p>⑳ウカヌー<br/>Kula canoe</p> |
|--|---|





# 海洋博公園の教育プログラムは学校教育の現場を支援します！

【参考：学習指導要領(平成29年告示)等での記載例】

## ■ 多様な学習教材・生きた教材が活用できます

- ・美ら海水族館では神秘に満ちた沖縄の生き物たちの雄大な世界、おきなわ郷土村では琉球王国時代の琉球列島の復元された村落・民家など、沖縄県内のみならず、全国でも他に見ることができない生きた資源を活用できます。
- ・また、ワークシートや解説サイン、映像など、多様な学習教材を利用することができます。

## ■ 新・学習指導要領に対応するプログラムを提供します

- ・「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点からプログラムを提供します。
- ・**主体的な学び**の実現については、事前に複数の課題を提示し、児童が自ら選択できるようにする等を提案・支援します。
- ・**対話的な学び**の実現については、プログラムの中で、グループワークの時間を設けたり、公園スタッフとの対話する時間を設け、コミュニケーション力を身につける機会・場面を提案します。対話のヒントとして質問リスト等の準備等を提案します。
- ・**深い学びの実現**については、公園内のプログラム実施だけでなく、学校に戻っての振り返り等によって実現できるように、留意します。

## ■ 学校側のニーズに応じたプログラム、学習場面設定を提案します

- ・海洋博公園のプログラム実施のみで実現すべき学びを行うのではなく、学校の授業と連携して、主体的・対話的で深い学びが実現できるように、「学習を見直し振り返る場面」「グループなどで対話する場面」などを、学校側と打合せをしながら、本公園のプログラム体験で期待される役割を理解して実施します。
- ・また、対象学年の学習目標・内容に応じたプログラムを提案します。

## ■ 指導計画に落とし込みやすいプログラム実施支援をします

- ・**主体的・対話的で深い学び**を、単元など内容や時間のまとまりの中で、海洋博公園の教育プログラムを活用し、どのように組み込んでいくか、指導計画作成段階から支援いたします。
- ・特に、翌年の指導計画を作成する12～2月ごろについても、海洋博公園でのプログラム実施について、対面にて支援させていただきます。

【指導要領・第2節社会】  
●第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2  
(3)博物館や資料館などの施設の活用を図るとともに、身近な地域及び国土の遺跡や文化財などについての調査活動を取り入れるようにすること

【指導要領解説・社会編】  
第1章総説  
●2 社会科改訂の趣旨及び要点  
点  
(1)改訂の趣旨、(i)  
・主体的な学びについて  
・対話的な学びについて  
・深い学びの実現のために

【指導要領解説・社会編】  
第4章指導計画の作成と内容の取扱い  
●指導計画作成上の配慮事項  
主体的・対話的で深い学びは、必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではない。単元など内容や時間のまとまりの中で、例えば、主体的に学習に取り組めるよう学習の見直しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面にどこに設定するか、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面にどこに設定するか、学びの深まりをつくりだすために、児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で授業改善を進めることが求められる。

# 海洋博公園教育プログラム一覧

## 小学校1・2年生向け/生き物1・2

学年	学習指導要領	分類	プログラム名称	目的	内容	定員及び申込	開催日 所要時間	場所
小学校 1・2 年生	小学校生活科第1・2学年 2内容(7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持って働きかけることができ、それらは生命を持っていることや成長していることに気づくとともに、 <u>生き物への親しみを持ち、大切にしようとする。</u>	生き物 1	ウミガメの観察体験	動物の飼育活動を通して、変化や成長に気づき生き物への親しみを持ち、大切にすることを設ける。	ウミガメの生態の説明 ウミガメの観察	30名/1回 要事前申込	通年開催 45分～90分 体験によって 要相談あり	ウミガメ館
		生き物 2	イルカの観察体験		イルカの生態の説明 イルカの観察 バックヤード見学			オキちゃん劇場

# 海洋博公園教育プログラム一覧

## 小学校1・2年生向け/植物1・2・3・4・5・6・7

学年	学習指導要領	分類	プログラム名称	目的	内容	定員及び申込	開催日 所要時間	場所
小学校 1・ 2 年生	小学校生活科第1・2学年 2内容(6)  身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどで遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり出すことができ、その面白さや自然の不思議さに気づくとともに、みんなと楽しみながら遊びを作り出そうとする。	植物 1	自然素材の工作体験	自然素材(草木)を材料とした昔の玩具作り遊びの体験を通して自然の不思議さへの気づき、創作の機会を設ける。	マーニ (和名:クロググ) を使った草玩具作り	35名/1回 要事前申込	通年開催 45分~90分	おきなわ郷土村
	小学校生活科第1・2学年 2内容(5)  身近な自然を利用したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見つけることができ、自然の様子や四季の変化季節によって生活の様子が変わることや気づくとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。	植物 2	熱帯植物学習 ・観察ツアー	植物の栽培活動を通して変化や成長に気づき生き物への親しみを持ち大切にすることを設ける。	熱帯植物学習 ・観察ツアー	各回10名 ※10名以上の団体 要事前申込	通年開催 40分~	熱帯 ドリームセンター
		植物 3	沖縄の植物体験 イベント /植物観察ツアー		植物観察ツアー	なし (要事前 申込)	通年開催 60分	熱帯・亜熱帯 都市緑化 植物園
		植物 4	沖縄の植物 体験イベント /植物のクラフト作り		植物を使った クラフト	なし (要事前 申込)	通年開催 60分	熱帯・亜熱帯 都市緑化 植物園
		植物 5	沖縄の植物を使った セルフクラフト 作り体験		植物を使った セルフクラフト	なし (要事前 申込)	通年開催 60分	熱帯・亜熱帯 都市緑化 植物園
		植物 6	環境学習		宝探し、葉っぱ当て ゲーム など	なし (要事前 申込)	通年開催 60分	熱帯・亜熱帯 都市緑化 植物園
	植物 7	植物の栽培体験	植物の栽培 体験		100名 (熱帯 ドリーム センター)  30名 (おきなわ郷 土村) 要事前申込	12月~3月 30分~40分	熱帯 ドリームセンター おきなわ郷土村	
小学校生活科第1・2学年 2内容(7)  植物を育てる活動を通してそれらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気づくとともに生き物への親しみを持ち、大切にしようとする。								

# 海洋博公園教育プログラム一覧

## 小学校3年生向け/文化1・2・3

学年	学習指導要領	分類	プログラム名称	目的	内容	定員及び申込	開催日 所要時間	場所
小学校 3年生	小学校社会科第3学年 2内容(4)  市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・ 解決する活動を通して、次の事項を身に付けることが できるように指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること (ア) 市や人々の生活の様子は時間の経過に伴い、 移り変わってきたことを理解すること。 (イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、 年表などにまとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に 付けること (ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の 道具などの時期による違いに着目して、 市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化 を考え、表現すること。	文化1	おきなわ郷土村 ガイドツアー		おきなわ郷土村について、ガイドツアーを通して、当時の人々の暮らしと現在の暮らしを比較する。	20名/1回 要事前申込	通年開催 45分	おきなわ 郷土村
		文化2	昔の村落を学ぶ (住の体験)	昔の沖縄の伝統的な村落構造についての課題追究・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を身に付ける。	おきなわ郷土村内の家屋・信仰について、ワークシートを用いた調べ学習を行うことで、当時の人々の暮らしと現在の暮らしと比較する。	30名/1回 要事前申込	通年開催 2時間	おきなわ 郷土村
		文化3	海洋文化館 ガイドツアー		海洋文化館についてガイドツアーを通して、当時の人々の暮らしと現在の暮らしを比較する。	20名/1回 要事前申込	通年開催 45分	海洋文化館

# 海洋博公園教育プログラム一覧

4年生向け/理科1

1・2年生向け/社会1

3年生向け/社会2

4年生向け/社会3

学年	学習指導要領	分類	プログラム名称	目的	内容	定員及び申込	開催日 所要時間	場所
小学校 4年生	小学校理科 第4学年 2内容 B生命・地球 (5) 月と星 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身につけること。 (ア) 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置がかわること。 (イ) 空には、明るさや色の違う星があること。 (ウ) 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって並び方は変わらないが、位置が変わること。 イ 月や星の特徴について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、月や星の位置の変化と時間の経過との関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。	理科1	太陽・地球・月・星の学習	月や星の特徴について、位置の変化や時間の経過に着目して、関係付けて調べる活動を通して、月や星の特徴等を身につける。	海洋文化館 プラネタリウム搭載の「ブロック型学習番組」での学習をとおして、太陽・地球・月・天体についての理解を深める。	100名 ※定員以上の団体参加は要事前連絡	通年開催 45分程度	海洋文化館 プラネタリウム ホール
小学校 1・2年生	小学校生活科 第1・2学年 2内容(3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考える事ができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることがわかり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。	社会1	郷土村で働く人々へのインタビュー学習	地域で働いている人々へのインタビューを通して、様々な人や場所とかわり生活していることについて考える機会を設ける。	公園スタッフへのインタビュー学習	20名 要事前申込	通年開催 45分～90分	海洋博公園内
小学校 3年生	小学校社会科 第3学年 2内容(4) 市の様子の移り変わりについて学習の問題を追究解決する活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。 (イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 交通や、公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。	社会2	昔の沖縄のインタビュー学習 (昔の沖縄の生活)	昔の沖縄の生活の様子についての課題追究・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力などを身に付ける。	おきなわ郷土村 海洋文化館 ガイドツアーを通して、昔の沖縄の人々の暮らしを体験し、現在の暮らしと比較する。	20名 要事前申込	通年開催 120分 おきなわ郷土村 海洋文化館 ツアー 1コマどちらでも可	おきなわ郷土村 /海洋文化館
小学校 4年生	小学校社会 第4学年 2内容 (4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。 (イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。 (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え人々の願いや努力を考え、表現すること。 (イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。	社会3	昔の沖縄のインタビュー学習 (文化財・年中行事)	沖縄の文化財・年中行事についての課題追究・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力。表現力等を身につける。	おきなわ郷土村でのガイドツアーを通して、昔の沖縄の村落形態の家屋の作りを把握することで、現在に引き継がれている文化財・年中行事についての学習をする。	20名 要事前申込	通年開催 120分	おきなわ郷土村

## ウミガメの観察体験



目的：動物の飼育活動を通して、変化や成長に気付き、生き物への親しみを持ち、大切にできる機会を設ける。

内容：ウミガメの生態の説明、ウミガメの観察

回数：要相談

所要時間：要相談

対象年齢：小学校1年～

定員：要相談

場所：ウミガメ館

学習指導要領：小学校生活科 第1・2学年 2内容（7）

### めあて

動物の飼育活動を通して、変化や成長に気付き、生き物への親しみを持ち、大切にできる機会を設ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
動物の飼育	室内・室外	45分～90分	水筒	小学1年生以上	要相談

場所	時間	内容	目標など	キーワード
ウミガメ館	説明 (10分)	ウミガメの生態、海の環境等の説明		ウミガメ・環境
	観察体験 (20分)	ウミガメの観察、触察	生物に触れることで、身近な動物や自然に親しむ。	ウミガメ・環境・生き物への親しみ
	ふり返り (10分)	生き物の命や成長について解説	人と動物との関係を考える。	ウミガメ・環境・生命・成長
	質疑応答 (5分)			

※45分の場合

## イルカの観察体験



目的：動物の飼育活動を通して、変化や成長に気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることを設ける。

内容：イルカの生態の説明、イルカの観察、バックヤード見学

回数：要相談

所要時間：要相談

対象年齢：小学校1年～

定員：要相談

場所：オキちゃん劇場

学習指導要領：小学校生活科 第1・2学年 2内容（7）

### めあて

動物の飼育活動を通して、変化や成長に気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることを設ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
動物の飼育	室内・室外	45分～90分	水筒	小学1年生以上	要相談

場所	時間	内容	目標など	キーワード
オキちゃん劇場	説明 (10分)	イルカの生態、生息する環境等の説明		イルカ・環境
	観察体験 (20分)	イルカの観察、調餌室、検査室の見学	生物を観察ことで、身近な動物や自然に親しむ。	イルカ・環境・生き物への親しみ
	ふり返り (10分)	生き物の命や成長について解説	人と動物との関係を考える。	イルカ・環境・生命・成長
	質疑応答 (5分)			

※45分の場合

## 自然素材の工作体験



目的：自然素材（草木）を材料とした昔の玩具作り、遊びの体験を通して、自然の不思議さへの気付き、創作の機会を設ける。

内容：・マーニ（和名：クロツグ）等を使った草玩具作り  
・ソテツの虫かごづくり・イグサを使った草玩具

回数：通年複数回の授業、1コマどちらも対応可

所要時間： 45分～90分

対象年齢： 小学校1年～

定員： 35名(要事前申込)

場所： おきなわ郷土村

学習指導要領：小学校生活科 第1・2学年 2内容（6）

### めあて

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びやその遊具を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付く。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
草玩具 昔の暮らし	室内	45分～90分	水筒	小学1年生以上	35名

場所	時間	内容	目標など	キーワード
おきなわ 郷土村	説明 (10分)	沖縄に自生する植物の紹介、昔からの利用方法などについて解説	沖縄に昔から自生している植物を、その利用について知る。	マーニ、ソテツ、イグサ、草玩具
	工作体験 (20分)	植物を使った工作づくり体験（熱帯魚、かたつむり、虫かご、ウマグラーなど）	植物を利用した遊びを体験することで、身近な植物や自然に親しむ。	身の回りの植物を利用した遊び
	ふり返り (10分)	昔の人の知恵や工夫について解説。植物を利用した民具は様々あり、今も使用されているものがあることを紹介。	人と植物の関係を知る、新しい利用を考える。	つくって試す
	質疑応答 (5分)			

※45分の場合

## 熱帯植物学習・観察ツアー



目的：熱帯ドリームセンターのラン温室 3 棟と果樹温室、回廊棟を回りながら「熱帯植物の不思議」のワークシートを使い、温室内にある熱帯植物について学習・観察する。最後に観察した植物の振り返り学習を行う。

内容：要相談

所要時間： 40分～

対象年齢： 小学校1年～

定員： 10名（要事前申込。また定員を超える場合は要相談）

場所： 熱帯ドリームセンター ラン温室・果樹温室・回廊棟など

学習指導要領： 小学校生活科 第1・2学年 2内容（5）

### めあて

植物の観察活動を通して、自然の様子や四季の変化を取り入れ、違いや特徴を見付け自分の生活を楽しむ機会を設ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
植物の観察	室外	40分～	水筒	小学1年生以上	10名

場所	時間	内容	目標など	キーワード
熱帯ドリームセンター	説明 (5分)	熱帯ドリームセンター内で見られる熱帯植物等について説明		
	観察会 (20分)	熱帯植物等の観察会	身近な自然を観察する	植物・身近な自然
	振り返り (10分)	図鑑やワークシート等を用いて観察した熱帯植物の振り返り学習を行う	自然の様子や四季の変化を取り入れ自分の生活を楽しむ。	植物・身近な自然・四季の変化
	質疑応答 (5分)			

※40分の場合

## 沖縄の植物体験イベント/植物観察ツアー



目的：植物園内に植栽されている見頃の植物等を観察するガイドツアーを行い、開花や結実時期、植物の特性や用途、育て方等を紹介。

内容：植物園内の植物等の観察会

回数：要相談

所要時間：1時間/60分

対象年齢：小学校1年～

定員：なし（要事前申込）

場所：熱帯・亜熱帯都市緑化植物園

学習指導要領：小学校生活科 第1・2学年 2内容（5）

### めあて

植物の観察活動を通して、自然の様子や四季の変化を取り入れ、違いや特徴を見付け自分の生活を楽しむ機会を設ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
植物の観察	室外	1時間/60分	水筒	小学1年生以上	－

場所	時間	内容	目標など	キーワード
熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	説明 (15分)	植物園内の植物の説明		
	観察会 (30分)	植物園内の植物の観察会、開花や結実時期、植物の特性や用途、育て方等を紹介	身近な自然を観察する。	植物・身近な自然
	ふり返り (10分)	観察した植物園内の植物の振り返り学習を行う	自然の様子や四季の変化を取り入れ自分の生活を楽しむ。	植物・身近な自然・四季の変化
	質疑応答 (5分)			

※60分の場合

## 沖縄の植物体験イベント/植物のクラフト作り



目的：沖縄の在来植物等を素材にクラフト作りを行い、植物に気軽に親んでもらう

内容：ハガキ作り、クリスマスリース作り、草木染等（※材料費は有料）

回数：要相談

所要時間：1時間/60分

対象年齢：小学校1年～

定員：なし（要事前申込）

場所：熱帯・亜熱帯都市緑化植物園

学習指導要領：小学校生活科 第1・2学年 2内容（6）

### めあて

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びやその遊具を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付く。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
クラフト体験	室内	1時間/60分	水筒	小学1年生以上	—

場所	時間	内容	目標など	キーワード
熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	説明 (15分)	植物園の説明		
	クラフト体験 (30分)	植物を使ったクラフト体験 (ハガキ作り、クリスマスリース作り、草木染、など)	植物を利用した遊びを体験することで、身近な植物や自然に親しむ。	身の回りの植物を利用した遊び
	ふり返り (10分)	使用した植物の振り返り学習を行う	自然の様子や四季の変化を取り入れ自分の生活を楽しくする。	植物・身近な自然・四季の変化
	質疑応答 (5分)			

※60分の場合

## 沖縄の植物を使ったセルフクラフト作り体験



目的：沖縄の在来植物等を素材にクラフト作りを行い、植物に気軽に親しんでもらう

内容：木の実でマグネット、押し花でガーランド、ゆりえ、  
その他季節に応じた内容（クリスマスツリー、お正月飾り等）

回数：要相談

所要時間：1時間/60分

対象年齢：小学校1年～

定員：なし（要事前申込）

場所：熱帯・亜熱帯都市緑化植物園

学習指導要領：小学校生活科 第1・2学年 2内容（6）

### めあて

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びやその遊具を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付く。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
クラフト体験	室内	1時間/60分	水筒	小学1年生以上	-

場所	時間	内容	目標など	キーワード
熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	説明 (15分)	植物園の説明		
	クラフト体験 (30分)	沖縄の植物を使ったセルフクラフト作り体験 (木の実でマグネット、押し花でガーランド、など)	植物を利用した遊びを体験することで、身近な植物や自然に親しむ。	身の回りの植物を利用した遊び
	ふり返り (10分)	使用した植物の振り返り学習を行う	自然の様子や四季の変化を取り入れ自分の生活を楽しくする。	植物・身近な自然・四季の変化
	質疑応答 (5分)			

※60分の場合

## 環境学習



目的：野生生物や、自然について遊びながら学び、考えてもらう

内容：みんなの宝探し、葉っぱ当てゲーム、フィールドビンゴなど（過去に実施した内容です。ご要望により様々なプログラムを組みますので、事前にご相談ください。）

回数：要相談

所要時間：1時間/60分

対象年齢：小学校1年～

定員：なし（要事前申込）

場所：熱帯・亜熱帯都市緑化植物園

学習指導要領：小学校生活科 第1・2学年 2内容（5）

### めあて

野生生物や、自然について遊びながら学び、考えてもらうプログラムです

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
自然・環境	室内・屋外（メニューによる）	1時間/60分	水筒	小学1年生以上	-

場所	時間	内容	目標など	キーワード
熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	説明（15分）	植物園、プログラムの説明		
	プログラム（30分）	みんなの宝探し、葉っぱ当てゲーム、フィールドビンゴなど	遊びを通して学び、考えてもらう	身の回りの植物を感じる遊び
	ふり返り（10分）	テーマにした自然や環境に対する振り返り学習を行う	自身をとりまく自然や環境に対して‘きづき’を得る	植物・身近な自然・四季の変化
	質疑応答（5分）			

※60分の場合

## 植物の栽培体験



目的：植物の栽培活動を通して、変化や成長に気付き、生き物への親しみを持ち、大切にできる機会を設ける。

内容：植物の栽培体験

回数：12月～3月の授業、1コマどちらも対応可

所要時間：30分～45分

対象年齢：小学校1年～

定員：100名（熱帯ドリームセンター）、30名（おきなわ郷土村）（要事前申込）

場所：熱帯ドリームセンター・おきなわ郷土村等

学習指導要領：小学校生活科 第1・2学年 2内容（7）

### めあて

植物の栽培活動を通して、変化や成長に気付き、生き物への親しみを持ち、大切にできる機会を設ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
植物の栽培	室外	30分～45分	水筒	小学1年生以上	最大 100名
場所	時間	内容	目標など	キーワード	
おきなわ 郷土村	説明 (10分)	植物の紹介、利用方法などについて 解説			
	工作体験 (20分)	植物の観察会・栽培体験	植物の栽培体験・ 観察会を通して、 身近な植物や自然 に親しむ。	植物への親しみ	
	ふり返り (10分)	栽培した植物の振り返り学習を行う	植物の変化、成長 を知る。	生命・成長	
	質疑応答 (5分)				

※45分の場合 ※開催期間12月～3月

自然素材の工作体験（45分） 小学1年生 生活

※前日まで

事前学習 1-2回（学校への出前授業）

※出前授業の内容は各学校様と打ち合わせて決定

当日

15分

海洋博公園着  
おきなわ郷土村へ移動

沖縄で昔から作られている草玩具  
と材料について解説（10分程度）

授業  
45分

草玩具工作体験  
（かたつむり、熱帯魚等）

工作完成品・感想の発表

終了

事後学習 1-2回（学校での発表会等）

※事後学習の内容は各学校様と打ち合わせて決定

### 工作完成品



## おきなわ郷土村ガイドツアー



目的：昔の沖縄の生活の様子についての課題追求・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を身に付ける。

回数：要相談

所要時間：45分程度

対象年齢：小学校3年～

定員：20名（要事前申込）

場所：おきなわ郷土村（近年の民家・本部の民家・本家・御嶽・地頭代の家等）

学習指導要領：小学校社会科 第3学年 2 内容（4）ア（ア）（イ）・イ（ア）

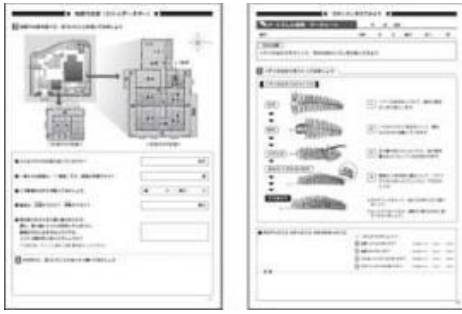
### めあて

昔の沖縄の生活の様子についての課題追求・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を身に付ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
昔の暮らし	室内	45分	-	小学3年生以上	20名

場所	時間	内容	目標など	キーワード
おきなわ郷土村	説明 (10分)	おきなわ郷土村概要説明		
	ガイドツアー (20分)	沖縄の村落、生活用具等、昔の沖縄の人々の暮らしについての説明	課題追求・解決活動を行う	昔の暮らし、沖縄の人々
	ふり返り (10分)	ガイドツアーをもとに、昔と現在の沖縄の人々の暮らしを比較し、1人1人が気付いたことを発表する。	思考力・判断力・表現力を身に付ける	昔の暮らし、沖縄の人々
	質疑応答 (5分)			

## 昔の村落を学ぶ（住の体験）



目的：昔の沖縄の伝統的な村落構造についての課題追求・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力。表現力等を身に付ける。

内容：おきなわ郷土村内の家屋・信仰について、ワークシートを用いた調べ学習を行うことで、当時の人々の暮らしと、現在の暮らしと比較する。

回数：通年複数回の授業、1コマどちらも対応可

所要時間：2時間/120分

対象年齢：小学校3年～

定員：30名（要事前申込） 場所：おきなわ郷土村

学習指導要領：小学校社会科 第3学年 2 内容（4）  
ア（ア）（イ）・イ（ア）

### めあて

昔の村落構造、家のつくりを学ぶことで、当時の人々の暮らしや家屋の特徴を知る。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
昔の家	室内・室外	2時間/120分	筆記用具	小学3年生以上	最大30名

場所	時間	内容	目標など	キーワード
おきなわ郷土村	説明 (15分)	おきなわ郷土村の概要を説明し、複数の家屋が再現されていることを紹介、学習にもちいるワークシートを配布。		
	グループ学習 (60分)	時代や身分の異なる家屋を見学し、共通する箇所、異なる箇所を探す。	各家屋を比較し、類似点・相違点を見つける。	建物のつくり、資材の違い
	発表 (20分)	グループごとに、気付いたことを発表。その後、村落構造や家屋が気候風土に合わせたつくりになっていることを解説。	沖縄の家屋の工夫を知り、昔と現在の暮らしを比較する。	瓦葺き、茅葺き、御嶽、神アサギ、庭
	質疑応答 (5分)			

※授業時間100分、移動・休憩20分

## 海洋文化館ガイドツアー



目的：昔の沖縄の生活の様子についての課題追求・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を身に付ける。

回数：通年複数回の授業、1コマどちらも対応可

所要時間：45分程度（要予約）

対象年齢：小学校3年～

定員：20名 ※定員を超える場合は要事前連絡

場所：海洋文化館

学習指導要領：小学校社会科 第3学年 2 内容 (4) ア (ア) (イ)・イ (ア)

### めあて

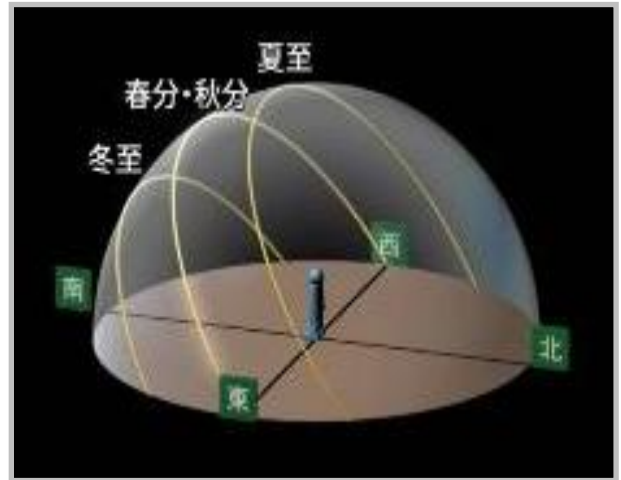
昔の沖縄の生活の様子についての課題追求・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を身に付ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
昔の暮らし	室内	45分	-	小学年生以上	20名

場所	時間	内容	目標など	キーワード
海洋文化館	説明 (10分)	海洋文化館概要説明		
	ガイドツアー (20分)	サバニ・漁具等の昔の沖縄の人々の暮らしについての説明	課題追求・解決活動を行う	昔の暮らし、沖縄の人々
	ふり返り (10分)	ガイドツアーをもとに、昔と現在の沖縄の人々の暮らしを比較し、1人1人が気付いたことを発表する。	思考力・判断力・表現力を身に付ける	昔の暮らし、沖縄の人々
	質疑応答 (5分)			



## 太陽・地球・月・星の学習



目的：月や星の位置の変化や時間の経過に着目し、関係付けて調べる活動を通して、月や星の特徴等を身に付ける。

回数：平日（午前実施・要事前予約）

所要時間：45分程度

対象年齢：小学校4年～

定員：92名

場所：海洋文化館 プラネタリウムホール

学習指導要領：小学校理科 第4学年 2内容 B生命・地球 (5) 月と星

### めあて

月や星の位置の変化や時間の経過に着目し、関係付けて調べる活動を通して、月や星の特徴等を身に付ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
太陽・地球・月・星の学習	室内	45分	-	小学4年生以上	92名
場所	時間	内容	目標など	キーワード	
海洋文化館 (プラネタリウム)	説明 (5分)	プラネタリウム学習番組の概要説明			
	プラネタリウム上映 (30分)	「A 方位確認」「B 太陽の動」「C 月の形と動き」「D 月と太陽」「E 星の明るさと色」「F 星の動き」「G 地球の自転・公転」「H 四季の星座」「J 太陽系と惑星」「K 恒星と惑星」の上映	太陽・地球・月・天体についての理解を深める	太陽・地球・月・星	
	ふり返り (10分)	太陽・地球・月・星等の特徴について発表する。	月や星の特徴について追究、根拠のある予想や仮説を発想し表現する	太陽・地球・月・星	
	質疑応答 (5分)				

## 働く人々へのインタビュー学習



目的：地域で働いている人々へのインタビューを通して、様々な人や場所と  
かかわり生活していることについて考える機会を設ける。

内容：公園スタッフへのインタビュー学習

回数：通年複数回の授業、1コマどちらも対応可

所要時間： 45分～90分

対象年齢： 小学校1年～

定員： 20名（要事前申込）

場所： 海洋博公園内

学習指導要領：小学校生活科 第1・2学年 2内容（3）

### めあて

地域で働いている人々へのインタビューを通して、様々な人や場所と  
かかわり生活していることについて考える機会を  
設ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
インタビュー学習	室内	45分～90分	水筒	小学1年生以上	20名

場所	時間	内容	目標など	キーワード
おきなわ 郷土村	説明 (10分)	公園での仕事の説明		
	インタビュー 学習 (20分)	公園スタッフへのインタビュー	地域と公園の仕事 のかかわりを知る	地域、働く
	ふり返り (10分)	インタビュー内容をもとに、公園で働く 地域の人について、1人1人が気付 いたことを発表する。	様々な人や場所と かかわり生活してい ることを学ぶ	地域、働く
	質疑応答 (5分)			

※45分の場合

## 昔の沖縄の生活学習



目的：昔の沖縄の生活の様子についての課題追求・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を身に付ける。

内容：郷土村・海洋文化館ガイドツアーを通して、昔の沖縄の人々の暮らしを体験し、現在の暮らしと比較する。

回数：通年複数回の授業、1コマどちらも対応可

所要時間：2時間/120分

対象年齢：小学校3年～

定員：20名（要事前申込）

場所：おきなわ郷土村/海洋文化館

学習指導要領：小学校社会科 第3学年 2 内容  
(4) ア (ア) (イ)・イ (ア)

### めあて

昔の沖縄の生活の様子についての課題追求・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を身に付ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
昔の暮らし	室内	2時間/120分	水筒	小学3年生以上	20名

場所	時間	内容	目標など	キーワード
おきなわ郷土村 海洋文化館	説明 (30分)	郷土村・海洋文化館ガイドツアー		
	グループ学習 (40分)	時代や身分の異なる家屋を見学し、共通する箇所、異なる箇所を探す。	各家屋を比較し、類似点・相違点を見つける。	建物のつくり、資材の違い
	ふり返り (20分)	ガイドツアー、グループ学習の内容をもとに、昔と現在の沖縄の人々の暮らしを比較し、1人1人が気付いたことを発表する。	思考力・判断力・表現力を身に付ける	昔の暮らし、沖縄の人々
	質疑応答 (10分)			

※授業時間100分、移動・休憩20分

## 昔の沖縄の生活学習（年中行事食）



目的：沖縄の文化財・年中行事についての課題追求・解決活動を通し  
知識・技能及び思考力・判断力。表現力等を身に付ける。

内容：郷土村でのガイドツアーを通して、昔の沖縄の村落形態・家屋の作りを把握  
することで、現在に引き継がれている文化財・年中行事についての学習をする。

回数：通年複数回の授業、1コマどちらも対応可

所要時間： **1時間60分**

対象年齢： 小学校4年～

定員： 20名（要事前申込）

場所： おきなわ郷土村

学習指導要領：小学校社会科 第4学年 2 内容（4）ア（ア）（イ）（ウ）  
・ イ（ア）（イ）

### めあて

沖縄の文化財・年中行事についての課題追求・解決活動を通し、知識・技能及び思考力・判断力。表現力等を身に付ける。

題材	活動場所	所有時間	持ち物	対象	人数
沖縄の文化財・年中行事	室内・室外	1時間/60分	筆記用具	小学4年生以上	20名

場所	時間	内容	目標など	キーワード
おきなわ郷土村	説明 (15分)	おきなわ郷土村の概要を説明し、昔の沖縄の村落形態・家屋の作りを紹介。		
	グループ学習 (25分)	時代や身分の異なる家屋や行事が行われた「神アサギ」「庭」「行事食サンプル」等をガイドと一緒に回り学習する。	各家屋を比較し、類似点・相違点を見つける。	建物のつくり、瓦葺き、茅葺き、御嶽、神アサギ、庭、 <b>年中行事</b>
	発表 (15分)	1人1人が気付いたことを発表。その後、村落構造や家屋が気候風土に合わせたつくりになっていることを解説。	沖縄の家屋の工夫を知り、昔と現在の暮らしを比較する。	建物のつくり、瓦葺き、茅葺き、御嶽、神アサギ、庭
	質疑応答 (5分)			

## 2. 教育プログラム予約一覧（見本）

### 海洋博公園 教育プログラム 定期利用プラン（〇〇小学校） ※モデルプラン

期間 2019年12月～2020年2月

記入例

月	日	曜日	時間	クラス	参加人数	引率人数	合計	希望する体験プラン	受入可否
11	28	木	10時～11時30分	小学1年生	30	4	34	自然素材の工作体験（アダン）	受入可
12	12	木	10時～11時30分	小学1年生	26	4	30	植物の栽培体験	
	19	木	10時～12時	小学3年生	26	4	30	昔の村落を学ぶ（住の体験）	
R2年 1	14	火	10時～11時30分	小学2年生	26	4	30	自然素材の工作体験	
	22	水	10時～12時	小学3年生	26	4	30	昔の暮らしを学ぶ（食の体験）	
	30	木	10時～12時	小学4年生	26	4	30	昔の沖縄のインタビュー学習	
2	11	水	10時～11時30分	小学1年生	26	4	30	植物の栽培体験	
	19	木	10時～12時	小学3年生	26	4	30	昔の村落を学ぶ（住の体験）	
	26	木	10時～11時30分	小学1年生	30	4	34	自然素材の工作体験（マーニ）	
<p>※1 上記は、モデルプランです。各学校の総合学校担当教諭様と個別調整の上、学校別プランを作成いたします。          ※2 小学6年生の「職場体験」での郷土村利用は、別途受け付けいたします。</p>									

## ● 小学校学習指導要領 第2章 第5節 生活

### 第2 各学年の目標及び内容

〔第1学年及び第2学年〕

#### 2 内容

〔身近な人々，社会及び自然と関わる活動に関する内容〕

- (3) 地域に関わる活動を通して，地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ，自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり，それらに親しみや愛着をもち，適切に接したり安全に生活したりしようとする。
- (5) 身近な自然を観察したり，季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して，それらの違いや特徴を見付けることができ，自然の様子や四季の変化，季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに，それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- (6) 身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ，その面白さや自然の不思議さに気付くとともに，みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。
- (7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して，それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ，それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに，生き物への親しみをもち，大切にしようとする。

## ● 小学校学習指導要領 第2章 第2節 社会

【第3学年】

#### 2 内容

- (1) 身近な地域や市区町村（以下第2章第2節において「市」という。）の様子について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- (4) 市の様子の移り変わりについて，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
  - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (ア) 市や人々の生活の様子は，時間の経過に伴い，移り変わってきたことを理解すること。
    - (イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめること。
  - イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。
    - (ア) 交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，市や人々の生活の様子を捉え，それらの変化を考え，表現すること。

# ● 小学校学習指導要領 第2章 第2節 社会

【第4学年】

## 2 内容

- (1) 都道府県(以下第2章第2節において「県」という。)の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- (4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。

(イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。

(イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。

# ● 小学校学習指導要領 第2章 第4節 理科

## 【第4学年】

### 2 内容

#### B生命・地球

##### (5) 月と星

月や星の特徴について、位置の変化や時間の経過に着目して、それらを関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わること。

(イ) 空には、明るさや色の違う星があること。

(ウ) 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わること。

イ 月や星の特徴について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、月や星の位置の変化と時間の経過との関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。

## 4. これまでの試行内容（教育プログラム）

令和元年度 教育プログラム実績（海洋博公園）					
	実施日	学校名等	人数	施設名	教育プログラム名
1	4月26日	久辺小学校	1年生19名 2年生28名	オキちゃん劇場	イルカ飼育施設見学
			3年生30名	おきなわ郷土村 海洋文化館	自然素材の工作体験 昔の村落を学ぶ
			4年生21名	ウミガメ館	ウミガメ飼育施設見学
			5年生23名 6年生27名	熱帯ドリーム センター	植物学習ツアー
2	5月24日	上本部小学校	4年生20名	海洋博公園 上本部小学校	環境学習（年間を通して実施）
3	7月18日	上本部中学校	3年生13名	海洋博公園	インタビュー学習1 （海獣・魚類・植物）
4	8月8日	本部町内の小学生・父兄、 本部町教育委員会子ども支援員 本部町役場福祉課ソーシャルワーカー	10名	おきなわ郷土村	昔の暮らしを学ぶ（食の体験）
5	8月15日	本部町内の小学生・父兄、 本部町教育委員会子ども支援員 本部町役場福祉課ソーシャルワーカー	13名	おきなわ郷土村	昔の暮らしを学ぶ（食の体験）
6	8月29日	上本部中学校	3年生13名	海洋博公園	インタビュー学習2 （海獣・魚類・植物）
7	9月26日	上本部中学校	3年生13名	海洋博公園	インタビュー学習3 （海獣・魚類・植物）
8	10月31日	上本部中学校	3年生13名	海洋博公園	インタビュー学習4 （海獣・魚類・植物）
9	11月21日	上本部中学校	3年生13名	海洋博公園	インタビュー学習5 （海獣・魚類・植物）
10	11月28日	上本部中学校	3年生13名	上本部中学校	学級でのパンフレット作成作業1 （振り返り学習）
11	12月9日	上本部中学校	3年生13名	上本部中学校	学級でのパンフレット作成作業2 （振り返り学習）
12	12月24日	上本部中学校	3年生13名	上本部中学校	発表会
		合計（のべ人数）	295名		

## 令和2年度 教育プログラム実績（海洋博公園）

	実施日	学校名等	人数	施設名	教育プログラム名
1	10月15日	本部小学校	5年生88名	海洋文化館	文化館ガイドツアー
2	10月21日	上本部学園（旧上本部小学校・中学校）	5年生29名	海洋博公園 上本部学園	環境学習（沖縄の淡水生物と外来種問題）
3	10月28日	今帰仁小学校	4年生37名	海洋文化館	太陽・地球・月・星の学習（プラネタリウム学習番組）
4	12月18日	上本部学園（旧上本部小学校・中学校）	中学2年生18名	海洋博公園 上本部学園	インタビュー学習1 （海獣・植物・文化館・郷土村）
5	R3 1月19日	上本部学園（旧上本部小学校・中学校）	中学2年生18名	海洋博公園 上本部学園	インタビュー学習2 （海獣・植物・文化館・郷土村）
6	1月25日	上本部学園（旧上本部小学校・中学校）	4年生34名	おきなわ郷土村	サトウキビ栽培体験1 （サトウキビ刈り）
7	2月2日	上本部学園（旧上本部小学校・中学校）	中学2年生18名	海洋博公園 上本部学園	インタビュー学習3 （海獣・植物・文化館・郷土村）
8	2月19日	上本部学園（旧上本部小学校・中学校）	4年生18名	おきなわ郷土村	サトウキビ栽培体験2 （サトウキビ植付け）
9	2月19日	緑風学園（久志小学校）	4年生16名	海洋文化館	職員インタビュー
		合計（のべ人数）	276名		

※令和2年度は、新型コロナ感染拡大による沖縄県緊急事態宣言で、学校が休校となり授業コマ数が不足したため、総合学習の時間で後れを取り戻した。これにより総合学習の時間を活用する教育プログラムの利用が減少した。



上本部学園4年生：  
サトウキビの収穫体験（おもろ植物園）



上本部学園5年生：  
沖縄の淡水生物と外来種問題の学習  
（おきなわ郷土村周辺）

# 申し込み方法

活動時間を変更したい

実施回数を増やしたい

内容に〇〇を加えてほしい

草木遊びも昔のくらしも  
学習したい

相談OK!

ご希望に合わせたプログラムを実施します

プログラム 申込フォーム	
申請日	年 月 日
学校名	
担当教員名	(姓・名・姓)
担当連絡先	
対象学年	
人数	名 (男: 名、女: 名)
実施希望日時 (決まらずとも希望範囲を記入)	年 月 日 時間: 時 分 ~ 時 分
実施場所 (決まらずとも希望範囲を記入)	各学校 【実施場所】 (例: 〇〇小学校自然教室)
希望プログラム名(複数可) (プログラム名を記入してください)	希望プログラム名(複数可) (プログラム名を記入してください)
<input type="checkbox"/> 通年学習 (プログラム名: ) <input type="checkbox"/> 短期学習 (プログラム名: )	<input type="checkbox"/> 海洋博公園 <input type="checkbox"/> 園路 <input type="checkbox"/> 花袋 <input type="checkbox"/> その他 (例: クラブ活動) ( )
備考(ご希望、ご質問等あればご記入ください)	
【対応】	可 否
【対応者】	【決裁日】 年 月 日
	【決裁者】

申し込みフォーム

## ○海洋博公園

開園時間: 夏 期(3月~9月)8:00~19:00  
通常期(10月~2月)8:00~17:30  
※入館締切は30分前

休園日: 2019年12月4日・5日

お問い合わせ  
海洋博公園管理センター

TEL: 0980-48-2741 FAX: 0980-48-3339  
HP: <http://oki-park.jp/kaiyohaku/>

## ○内閣府 沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所

公園の整備、都市公園法にもとづく許認可及び  
施設の大規模な維持補修工事等について

お問い合わせ  
国営沖縄記念公園事務所

TEL: 0980-48-2740 FAX: 0980-48-3793  
HP: <http://www.dc.ogb.go.jp/kouen/>

## ○海洋博公園へのアクセス

【公園所在地】  
〒905-0206  
沖縄県国頭郡本部町字石川424番地

【所要時間】  
・高速道路を使う場合  
→那覇空港から約2時間



・一般道路を使う場合  
→那覇空港から約2時間50分



※所要時間はあくまでも目安です。道路の混雑状況によって異なります。  
特に平日の朝夕の通勤時間には各地で渋滞が見られます。

## 海洋博公園 教育プログラム 申込表

一般財団法人 沖縄美ら島財団 海洋博公園管理センター 企画運営課 庶務班

教育プログラム係 様宛

海洋博公園教育プログラムを依頼いたしますので、予約調整の程、よろしくお願いいたします。

申請日                      年              月              日

学校名								学校
参加希望学年								
住所								
連絡先（代表番号）								
担任先生							様	

参加人数								名
実施希望日	年		月		日		(   )	
実施希望分類	生き物1	生き物2	生き物3					
	植物1	植物2	植物3	植物4	植物5	植物6		
○を付けてください。	文化1	文化2	文化3					
	理科1							
	社会1	社会2	社会3					
実施希望プログラム								
ご意見・ご要望	プログラムに関してご意見をお聞かせください。							
海洋博公園 管理センター TEL.0980-48-2741 FAX.0980-48-3339								
申込受付日	年		月		日		(   ) 担当：	

申込後に受付表を担当者からお送りさせていただきます。確認等がございましたら担当者へご確認ください。

# 国営沖縄記念公園

沖縄美ら海水族館  
オキちゃん劇場・イルカラグーン  
ウミガメ館・マナティー館  
美ら海プラザ  
エメラルドビーチ  
熱帯ドリームセンター  
海洋文化館  
おきなわ郷土村  
おもろ植物園  
熱帯・亜熱帯都市緑化植物園  
夕陽の広場  
噴水広場  
ちびっこひとりで  
ハイサイプラザ